

笑顔あふれる未来へ、一歩ずつ

豪雨の記憶を超えて 新しい希望のフィールドへ

奥八女焚火の森

キャンプフィールド（黒木町笠原）



OKUYAMA
TAKIBI no MORI
CAMPFIELD

P2 : 一般質問

P10: 定例会

P14: 委員会からの活動報告

P16: まちの声（インタビュー）



一般質問

一般質問ってなに？

一般質問は、議員が市政のさまざまな課題や問題点について、質問を行い、説明や報告を求めます。そうすることで、市の方針や取組を市民に明らかにします。
※一般質問の記事は、議員本人が原稿を作成しています。



過去の一般質問はこちらからご覧ください。

6月定例会 質問者・質問事項一覧

田中 栄一 議員 (P3)

- ①公立八女総合病院の経営安定化に向けた今後の展望について市の考えは

水町 典子 議員 (P3)

- ①市内各道路に対する市の安全対策について
- ②学校選択制度の現状と課題について
- ③市内小・中・義務教育学校における学校給食の現状と課題について

堤 康幸 議員 (P4)

- ①中山間地域の農地を維持するための取組について

久間 寿紀 議員 (P4)

- ①八女市の農業林業について
- ②八女市の山間部のにぎわいについて

坂本 治郎 議員 (P5)

- ①小中学校入学時等における保護者負担軽減について
- ②市内におけるインバウンド需要の拡大と地域に利益を残す観光戦略について

石橋 義博 議員 (P5)

- ①八女市の経済対策について
- ②八女市の定住対策について

高山 正信 議員 (P6)

- ①八女市まち・ひと・しごと創生総合戦略について
- ②八女市農業の持続可能性について

森 茂生 議員 (P6)

- ①消費税について
- ②成年後見制度について

三角 真弓 議員 (P7)

- ①地域福祉を取り巻く現状について
- ②超高齢化社会における道路愛護への支援について
- ③HPVワクチンの今後の取組について

原田 英雄 議員 (P7)

- ①過疎対策の具体的な取組について
- ②地域農業の現状と課題及びその対策について

牛島 孝之 議員 (P8)

- ①八女市の伝統工芸の振興について八女市の考えは
- ②八女市の教育について
- ③公立八女総合病院の今後について市の考えは
- ④インフラ整備費の予算について

花下 主茂 議員 (P8)

- ①子育て支援事業における委託業務の在り方について
- ②出水期を前にした避難所開設体制について
- ③一般国道3号広川八女バイパス事業における防災面の確認体制について

高橋 信広 議員 (P9)

- ①地域コミュニティについて
- ②観光戦略について

古賀 邦彦 議員 (P9)

- ①市民の暮らしと経営を守る施策について
- ②市の人事管理について
- ③教育行政について

公立八女総合病院の経営安定化に向けた今後の展望について市の考えは

市長

地域医療継続の観点から最重点課題であり経営安定化に向けて対応していく

映像配信
サイト



田中栄一
たなか えいち



公立八女総合病院

地域医療の要である
公立病院は市町が力
を尽くして存続すべき。

議員 公立八女総合病院

企業団の経営安定化に向けた協議は、構成自治体である広川町と進めているのか。

市長 共通の重要課題として広川町と緊密に連携しながら対応している。

また、個々の具体的な施策についても十分に協議を重ね実施していく。

議員 八女市の支援策を

どのように考えているか。

市長 本年度に部課長級の職員2名を配置（派遣）すること、広川町とも緊密な連携を取りながら、企業団と一体となった経営再建を進めている。資金面でも厳しい状況であり、財務指標などの動きを細かく把握し、医療の安定供給に必要な支援を

選択していく。企業団には「独立採算」(※)の原則に即した自助努力を強く求め、地域医療の安定継続を最優先に適切かつ効果的な支援を実施していく。

議員 企業長の任命権者である首長の経営への参画をどう考えるか。

市長 構成自治体の首長は、法的にも企業団経営の最高責任者であり、最終責任を負う立場である。今後、経営力補強の観点から、役割分担や組織設計の見直しは、検討項目の一つになると考える。

※企業団の「独立採算制」とは、経営に必要な費用は、住民の税金を財源とせず事業収入で賄うこと。経営の効率性や自立性が求められる。

LINEによる道路損傷通報システムは幅広く様々な案件で対応出来ないのか

課長

八女市でもシステムを導入しているが、今後更なる充実を図りたい

映像配信
サイト



水町典子
みづ まちのりこ

議員 自転車青切符制度

(※) 導入に伴う学校の取り組みは。

課長 警察の通知を受け、各家庭へ学校だより等で周知し、安全教育の中で取り入れている。

議員 制度を悪用した詐欺に対する市の対策は。

課長 広報紙等で、青切符制度を語る新たな詐欺の注意喚起を行っている。

議員 学校選択制度について

課長 制度利用者のスクールバスでの送迎や定期券補助など、広大な八女市ならではの対応は。

議員 中心部の学校への、児童生徒の流出にもつながりかねず、支援はあまり考えていない。

教育長



美味しく楽しい給食時間

学校給食特色化事業について

議員 地産地消の促進や、生産者の声を聞く機会は。

課長 各学校で毎月19日の地産地消の日に地元農産物を提供し、生産者のもとで、お茶摘みや田植え稲刈り体験等を実施している。

議員 給食時間をモニターでカウントダウンしている学校があると聞か。

課長 調査は行っていない。急がせるためだけのカウントダウンではないので、今後、調査する必要がある。

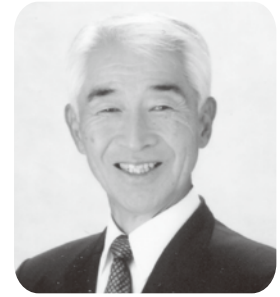
議員 本事業への考えは。

市長 学校給食日本一を目指し、子どもたちの郷土愛の醸成など八女市の発展につなげてまいりたい。

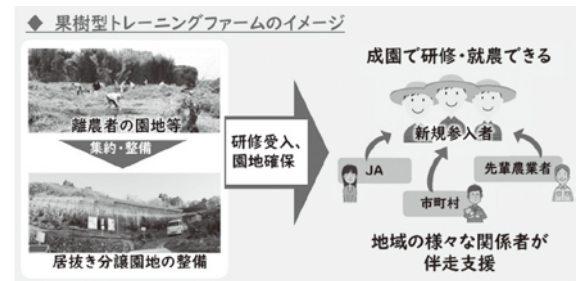
※自転車の青切符制度
令和8年4月に導入された自転車の交通反則通告制度。自転車の交通違反に対する取り締まりが強化されている。

新規参入者確保に果樹型トレーニングファーム設置の考えは

映像配信
サイト



課長 園地の確保や技術の習得から仕組みづくりの一つの手段だと思っている



出典：農林水産省ホームページ

議員 荒廃農地を出さないための取り組みは。
市長 農業委員会により、農地の適正管理の指導や利用調整活動に努めている。また、農地中間管理事業や中山間地域等直接支払制度の活用により、発生防止に取り組んでいる。
議員 集落協定の現状と今後の対応策は。
市長 農業従事者の高齢化と減少により取組面積

や集落協定数が大きく減少している。市としては地域の実情に応じた適切な支援策を講じて、優良農地を維持するための集落協定の継続と取組面積の拡大を推進していく。
議員 農地中間管理機構関連事業推進の考えは。
市長 地域の実情や要望など、中山間地域の現状を踏まえ、条件の合うものについては本事業の積極的な活用を努めていく。
議員 関連農地整備事業実施には、厳しい条件があるが、市の支援はあるが、市の支援は。
市長 市として、どのような携わり方ができるのかを検討していく。
議員 担い手確保の具体策は。
課長 今年度、柑橘（立花）とお茶（星野）で、受け入れ農家の確認もあり、地域おこし協力隊2名の募集を予定している。

農林業従事者の後継者不足に対する市の対応は

映像配信
サイト



市長 地域経済の維持発展、森林の維持保全のため、支援策を講じていく

議員 現在の農業人口の状況は。
課長 令和7年の統計で5年前より2割減の、2828戸である。
議員 新規就農者の現状は。
課長 平成24年に、新規就農者に対する国の給付金制度が始まって14年が経過したが、131件、164名の方に就農していただいている。
議員 後継者不足問題への市の具体的な施策は。
課長 これまで国の給付金の対象にならなかった50歳以上の方についても新たに市の支援給付金の対象とした。今後も様々な支援に努めていく。
議員 林業についての対策は。
課長 新たに地域おこし協力隊制度を導入し維持強化を図りつつ、次世代の林業の担い手づくりを進めていく。
議員 道路整備について。
議員 交流人口を増やすため、まず道路整備が必要ではないか。
課長 八女県土整備事務所や地元行政区、関係課と協議しながら対応を考えていく。
議員 観光振興について。
議員 新たなイベントについて市の考えは。
市長 地元の方々の意見を積極的に取り入れ、対応していきたい。



入学祝金の支給額は物価高騰を踏まえ見直せないか

教育長

子育て支援策とも併せて総合的に考えていく

映像配信
サイト



坂本 治郎
さかもと じろう

インバウンド戦略について

議員 地域に利益を還元する観光戦略について、どう考えているか。

市長 評価の高い地域資源を分析し、デジタル技術を活用し、さらなるインバウンド誘客につなげる。

議員 市内における消費額や滞在時間等の実態把握はしているのか。

課長 観光案内所での窓口調査や宿泊施設の客数調査を中心に行っている。

また、官公庁の補助事業や各種ビッグデータを活用した分析も進めている。



議員 将来的な観光公害への備えについて、市の考えは。

課長 地域住民の暮らしと観光振興が両立する持続可能な環境保全の仕組みづくりを研究する。

議員 地域外事業者に利益が流出することへの備えについて市の考えは。

市長 地元人材の雇用や地元産品の活用、地域との連携等を強く求め、地域経済にインバウンドの恩恵が還元され、循環する仕組みを推進する。

議員 海外向け観光戦略における情報発信や表記方法の改善について市の考えは。

課長 施設の価値や地域の魅力が一瞬で伝わる効果的な表記方法について研究していく。

農林業や商工業への経済対策について市の考えは

市長

後継者問題や生産コスト高の問題等、引き続き国や県と連携して支援策を講じていく

映像配信
サイト



石橋 義博
いしばし よしひろ

議員 各分野の具体的な支援策は。

市長 農業分野では就農支援の拡充による担い手確保をはじめ、農産物の付加価値向上と販路開拓を推進する。また、林業分野では国の森林環境譲与税や補助事業等を活用し、森林の整備や担い手確保を行い、経営基盤の強化を図る。商工業分野においては、地域資源を生かした先進的で持続可能な事業への支援や新たな産業団地の整備等に取り組む。

議員 各経済対策による人口への影響は。

市長 「稼ぐ八女市」の実現を掲げており、経済



第5次八女市総合計画後期基本計画

対策を通じて安定した雇用創出や市民の所得向上を図る。その結果として定住促進に好影響を与えと考える。

定住対策について

議員 定住対策の推進力として、市内の公園整備や拡充の考えは。

市長 公園整備を求める声が多く寄せられており、定住促進の観点からも重要性を強く認識している。

議員 近隣の自治体と比較して、どのような特色を持った公園整備を考えているか。

市長 豊かな自然環境など、八女市の特性を生かした魅力的な公園づくりに向けて検討を進める。



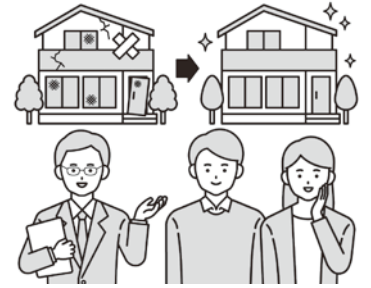
映像配信
サイト



施設園芸の発展へ国や県の支援と 価格転嫁策をどのように考えているか

市長 ブランド化や販路拡大を進め、国や県へ支援充実を要望していく

農業の持続可能性について
議員 土地改良事業により、営農環境にどのような効果が出ているのか。
課長 作業効率や省力化が進み、品質の均一化や収量の安定など営農基盤強化につながっている。
議員 現在の非常に厳しい経営環境が続いた場合、本市の農業への影響は。
課長 離農や後継者不足が進み、農業基盤の縮小が懸念される。
議員 農家が将来に希望を持って営農継続できる農業振興対策は。
市長 平野部は生産性向上、中山間地は高付加価値化を進め、地域特性に応じた農業振興に取り組む。



空き家をリフォームした中間管理住宅

八女市まち・ひと・しごと創生総合戦略について
議員 第3期まち・ひと・しごと創生総合戦略による人口減少対策は。

市長 2040年ビジョンを共有し、足元の課題と中長期的な人口減少対策に市を挙げて取り組む。

議員 中間管理住宅（※）の利活用をどのように移住定住の促進や地域活性化につなげていくのか。
市長 空き家を資源として活用し、移住定住と地域活性化につなげる。

※中間管理住宅
自治体が空き家を借り上げてリフォームし、移住者に貸し出す仕組み。

成年後見制度の現状は

室長 令和7年12月時点の福岡家庭裁判所の統計で、八女市の被後見人は271人

映像配信
サイト



消費税について
議員 多くの農家では、今まで農産物価格とは別枠で消費税8%分が収入になっていた。消費税が0%になれば、その分農家は収入減になる。飲食業の税率は、今までどれくらいだが、食材の仕入れ税率が0%になればその分仕入れ税額控除が減少し、納税する消費税が増える。農家も飲食業も大打撃を受けるが、その対策は。
市長 国の議論の動向を注視し、各種団体と協議をしながら、可能な限り事業者の影響が小さくなるよう努める。



成年後見制度について
議員 弁護士や司法書士等が、被後見人の財産を食い物にする酷い事件が多発している。この制度については、国連からは正勧告が出ている。2026年度に法改正が行われているが内容は。
室長 後見人の柔軟な交代ができる等、主に3つの制度改正が行われた。
議員 後見の申立ては、全国的に市長申立てが一番多くなっている。市長申立てを行う場合、慎重に客観的な判断に基づき行ってほしいが市の考えは。
部長 当然、慎重な審議のもと対応するが、まだ判断能力があるときに制度を活用する任意後見制度もあるため、周知に努める。

第3次八女市地域福祉計画・地域福祉活動計画の進捗状況は

みすみまゆみ
三角真弓

映像配信
サイト



市長

誰一人取り残さない地域共生社会の実現へ向けて取り組んでいる



地域共生社会の実現！

議員 福祉計画にある「我が事・丸ごと」の地域づくりについて市の考えは。

市長 高齢・障がい・子どもといった枠を超え、地域全体で支え合う理念に基づき進めている。

議員 重層的支援体制整備事業への取り組みは。

市長 断らない相談支援、参加支援、地域づくりに向けた支援を一体的に展開している。

議員 道路愛護の支援について

議員 各隣組単位での課題は。

市長 高齢者のみの世帯の増加等により、以前より活動が困難となっている。

議員 道路愛護が困難な地域への対応は。

市長 市直営の施設管理班や業務委託による草刈り、伐採等に対応する。

議員 HPV(子宮頸がん)ワクチンについて

議員 本市の接種目標は。

市長 対象となる全ての方々に正確な情報を届け、納得して接種を受けられる環境整備が目標。

議員 9価ワクチン(※)における2回接種への勧奨は。

市長 広報紙やホームページ、個別通知等で周知に努める。

議員 男性への接種の助成について市の考えは。

市長 八女筑後医師会の協力を得ながら検討する。

※9価ワクチン

子宮頸がんの原因の80〜90%を占める7種類のHPVといふ原因となる2種類のHPV、合計9種類の感染を防ぐワクチン。

持続可能な地域農業に向け、どのような将来像を目指すのか

はらだひでお
原田英雄

映像配信
サイト



市長

次世代に引き継がれ、多様な担い手が活躍する「稼げる農業」をめざす

議員 「稼ぐ八女市」の実現について、具体的にどのように取り組むのか。

市長 産業振興と雇用創出を結びつけることが不可欠と考える。商工業分野では、人材確保やDX化により経営基盤を強化するとともに積極的な企業誘致を進め、雇用創出を図る。農業分野では、スマート農業の導入により生産性向上を図るとともに農産物のブランド化や輸出推進による国内外の販路拡大を図る。

過疎対策の具体的な取り組みについて

議員 若年層が市内の西部地区に集中している現状を踏まえ、今後どのように取り組むのか。

部長 市内一律の施策から一歩進め、地域特性に応じた移住・定住施策を積極的に推進していきたい。

議員 特に人口減少が著しい旧町村地域については、どのように考えているのか。

部長 支所機能を充実させ、防災や医療、交通など生活に必要な機能の維持、確保を図ることによって地理的なハンデを補い、持続可能な市民生活の基盤づくりを行う。



乗用型摘採機による作業の様子

豊富な地域資源を最大限に活用し、次世代の若者に選ばれる魅力ある5年計画のスタートです！

伝統工芸の振興について、市の考えは

牛島孝之



映像配信
サイト



市長

伝統工芸は、本市の文化と経済を支える重要な地域資源と認識している

伝統工芸に関する市内事業者数の推移(過去10年間)

伝統工芸種別	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
仏壇 仏具	38	35	35	33	32	32	32	32	31	31
提灯	40	39	38	37	34	33	33	31	31	29
石灯ろう	19	17	14	13	13	13	13	13	13	12
手すき和紙	16	16	16	16	16	16	16	17	17	16
合計	113	107	103	99	95	94	94	93	92	88

議員 八女市にある伝統工芸品や伝統的工芸品の種類は。

市長 国指定の伝統的工芸品として八女福島仏壇と八女提灯、久留米紬がある。県指定の特産民工芸品として八女手すき和紙や八女石灯ろう、八女和ごま、八女矢、八女すだれなどがある。

議員 後継者の確保について、市の考えは。

市長 後継者の確保は、喫緊の課題と認識している。本市の貴重な財産である伝統工芸の技術を次世代へ引き継ぐため、後継者育成に対する積極的な支援が必要であると考えている。

議員 今後、伝統工芸を存続させていくための施策は。

市長 国や県の補助制度を活用した技術継承への支援を行うとともに、ふるさと納税の返礼品への追加や、八女伝統工芸館等でのPRを通じた国内外への販路拡大を推進する。さらに伝統技術を活用した新商品開発や新たな体験プログラムの創出等の取り組みを通じて、伝統工芸産業の存続と発展を図っていく。

子育て支援事業の業務委託において、責任までは外注できないのでは

花下主茂



映像配信
サイト



市長

委託業務である以上、最終的な責任は市にあると認識している



市民・事業者・市職員、三方良しの市民サービスへ！

委託事業の責任について

議員 委託事業で事故や苦情が生じた際の責任分担はどうなっているのか。

課長 原因や過失割合に応じ、市または事業者が責任を負うこととしている。

議員 事業委託後の実態把握と市と事業者の連携はできているか。

課長 実績報告や意見交換で把握し、改善につなげている。

議員 持続可能な行政サービス提供に向け、どのような姿勢で委託事業者との関係構築を図るのか。

市長 市の責任を認識し、事業者と綿密に連携する避難所開設体制について

議員 避難所開設の判断と流れは。

課長 降雨量や警報等を総合的に勘案し、段階的に開設している。

議員 道路寸断で職員が到着できない場合の備えはどう考えているのか。

課長 安全な段階で避難所開設を行い、一時避難所の開設体制を進めているが、今後は遠隔開錠等も研究したい。

議員 一般国道3号広川八女バイパスについて

議員 国の事業であつても、市が情報を把握し、地元へ説明すべきでは。

市長 情報を取り、市民へ説明する必要があると認識している。国には、地元要望を伝え、適切な時期での地元説明を要望している。

集落支援員 6 人は旧市町村単位の配置であるが、増やすべきではないか

部長 先進事例を研究しながら、まちづくり団体の要望に応じた対応に努める

映像配信
サイト



高橋 信広
たかはし のぶひろ

【福岡県における市別集落支援員設置状況 令和元年度～令和7年度】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
八女市	1	0	0	0	1	6	6
筑後市	12	11	11	11	11	11	11
小郡市	3	3	3	3	3	3	3
うきは市	3	3	3	3	2	3	3
朝倉市	2	2	2	2	2	2	3
嘉麻市	0	0	1	1	0	0	0
	21	19	20	20	19	25	26

※総務省資料抜粋

議員 集落支援員（※）の役割は、まちづくり団体との連携を含めて、要綱等を策定し明記すべきでは。

課長 先進事例を研究しながら、今後整理したい。

議員 まちづくり団体は、常設の拠点が必要では。

課長 地元活動を積極的に展開するためには、身近な場所に拠点があることは好ましいと考えている。

行政区再編は行政主導で

議員 行政区の再編について、市長の見解は。

市長 まちづくり協議会と行政区の役割分担が曖昧な部分があるため、協働のまちづくりのあり方を考え直し、再定義した上で、あるべき行政区の姿を地元の意見を聞きながら、基本的には行政主導で実施したい。

議員 ホテル誘致に対する市長の意気込みは。

市長 門戸を開いているだけでなく、取りに行く姿勢が必要であり、事業者へのアプローチを含め自ら積極的に取り組む。

議員 アンテナショップである八女本舗の移転を含めた今後の考えは。

市長 役割自体を明確にした上で、具体的な場所を含めて、八女本舗の今後のあり方については、しっかり検討したい。

※集落支援員
地域の実情に詳しく、集落対策のノウハウ・知見を有した人材で、集落への「目配り」として集落の巡回、状況把握等を実施。

中東情勢で経営悪化に苦しむ事業者に対し、自治体としての直接支援を

市長 待ちの姿勢でなく、しっかり状況を把握し、先手先手で対策を取っていく

映像配信
サイト



古賀 邦彦
こが くにひこ

市民の暮らしと経営を守る施策について

議員 中東情勢を受けて、どういう取り組みをしてきているのか。

市長 国や県が設置する相談窓口や支援制度の周知及び市独自の融資制度を拡充し、可能な限りの下支えを行っている。

議員 今後の対策は。

市長 関係団体と連携し、市内事業者の状況把握に努め、国や県に対し必要な支援を働きかけていく。

議員 影響を受けている市民、事業者へ市税納付猶予等の早急な周知を。

課長 分割納付や延滞金の減免可能な徴収の猶予等、実情に寄り添った丁寧な納税相談を心がけ、積極的に案内していく。

技術職員について

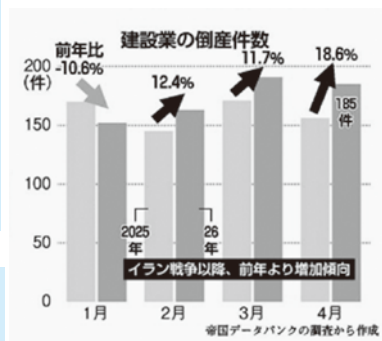
議員 技術職員の技術力の維持及び伝承に問題はないのか、今後の技術職の採用計画は。

市長 若手職員の人材育成・技術伝承を強化するとともに、技術職の採用を計画的に実施していく。筑南中学校と南中学校の統合について

議員 スクールバスの1年前倒しの柔軟な運行はできないのか。

教育長 学校選択制を利用して通学されており、現行のルールに沿って通学していただきたい。

事業者の暮らしと市民の暮らしを守ることは、自治体の最大の任務である。



6月定例会は、5月26日から6月12日までの18日間の会期で開催しました。

市長から一般会計補正予算案や条例改正案などの議案が提案され、いずれも原案どおり承認・可決・同意しました。(賛否表13ページ)

また、請願1件を採択し、委員会から提案した意見書案1件を原案どおり可決しました。

予算審査

可決

一般会計補正予算（第1号）

各分科会で補正予算を審査し、一般会計に8472万9千円を追加する補正予算を原案のとおり可決しました。補正予算の事業等は、下記のとおりです。

※【】内の金額は補正額（千円以下切り捨て）

◆民生費【8296万円】

- ・生活保護費
- ・生活保護医療・介護・経理事業
- ・保育所等給食支援事業

◆教育費【176万円】

- ・不登校対策校内支援充実事業

生活保護費

補正予算額：5843万円

生活困窮者が資産、能力等を活用してもなお生活に困窮する場合に、経済的な援助を行いながら生活を保障し、自立を助長する制度である。令和7年6月の最高裁判決により、過去の生活保護基準引き下げが違法と確定したことを受け、国が決定した追加給付方針に基づき、生活保護費の追加給付を行うもの。

質疑のポイント

問 八女市に住んでいる方は、申請せずに支払われるということか。

答 現に八女市で生活保護を受給中である場合、申請せずに追加給付が受けられる。

問 現在は生活保護が廃止され、申請が必要な方への周知方法は。

答 広報誌、ホームページ、八女市公式LINE、dボタン広報誌、FM八女での周知のほか、福祉課窓口にチラシなどを置いて、より広く周知に努める。

不登校対策校内支援充実事業

補正予算額：176万円

不登校対策を小学校の段階で早期に行い、不登校児童を減少させることを目的とする。また、不登校児童支援員を配置し、対策の充実と教員の働き方改革を両立させるもの。

質疑のポイント

問 不登校児童支援員の具体的な指導内容は。

答 学習定着度に応じた学習指導や配慮が必要な児童への教育相談、家庭への連絡等による不登校児童の支援等を行う。また、子どもたちとより深い関係を築き、学校に行くことに対するハードルを下げることである。

問 小学校での不登校支援の取り組みが、中学校でも成果が出ているのか。

答 不登校の傾向にある児童が早期に支援を受けることにより、少しでも学校に行けるようになることへつながると考える。



人事案件

次の方を任命することに **同意** しました。

農業委員会委員

(任期：令和8年7月20日から3年)

※農業委員会委員とは

法律に基づき設置される行政委員会で、農業に関する識見を有し、農業委員会の所掌事項に関し職務を適切に行うことができる者のうちから、議会の同意を得て任命されるもので、任期は3年です。

柴田 (しばた)	丸林 (まるばやし)	馬場 (ばば)	大坪 (おおつぼ)	國武 (くにたけ)	橋爪 (はしづめ)	牛島 (うしじま)	堤 (つつみ)	中村 (なかむら)	溝田 (みぞた)	八田 (はった)	馬渡 (まわたり)
孝保 (たかやす)	京市 (けいいち)	一登 (かずと)	知美子 (ちみこ)	覚 (さとる)	寿賀夫 (すがお)	孝之 (たかゆき)	正義 (まさよし)	輝義 (てるよし)	耕一 (こういち)	久男 (ひさお)	高人 (たかと)
氏	氏	氏	氏	氏	氏	氏	氏	氏	氏	氏	氏
松本 (まつもと)	高山 (たかやま)	伊藤 (いとう)	野中 (のなか)	溝田 (みぞた)	栗原 (くりはら)	平島 (ひらしま)	中島 (なかしま)	原 (はら)	樋口 (ひぐち)	大石 (おおいし)	仁賀木 (にがき)
敬介 (けいすけ)	和典 (かずのり)	正博 (まさひろ)	敏光 (としみつ)	正忠 (まさただ)	嘉寿秀 (かずひで)	修 (おさむ)	広伸 (ひろのぶ)	義博 (よしひろ)	重樹 (しげき)	重信 (しげのぶ)	義文 (よしふみ)
氏	氏	氏	氏	氏	氏	氏	氏	氏	氏	氏	氏

条例の改正、請願・意見書

議案第40号

専決処分について

(八女市国民健康保険税条例の一部を改正する条例)

可 決

改正の背景・理由

地方税法施行令（昭和25年政令第245号）の一部改正に伴い、本市の国民健康保険税についても同様の措置を講ずるため、八女市国民健康保険税条例の一部を改正するもの。

改正の主な内容

国民健康保険税の基礎課税額（医療分）の賦課限度額を引き上げるもの。また、国民健康保険税の5割軽減、2割軽減に係る所得判定基準を拡充するもの。

反対討論（森茂生議員）

物価上昇に賃金の伸びが追いつかず実質賃金が4年連続でマイナスとなり、年金も実質的に低下している状況である。最近では、中東情勢などにより、異常な物価高に見舞われている。当然市民の経営も生活も大変な状況になっているのが今の現状である。このような厳しい現状のなか、本議案は低所得者対策は取っているものの、限度額の引き上げで、結局、市民負担は増える。このような時期に引き上げは、とても市民の納得を得られるものではない。

議案第42号 八女市税条例の一部を改正する条例の制定について

可 決

改正の背景・理由

地方税法（昭和25年法律第226号）の一部改正に伴い、必要な改正をしようとするもの。

改正の主な内容

個人市民税における各種税額控除の適用期限の延長及び新たな課税特例の創設、並びに固定資産税における免税点の引き上げによるもの等である。

反対討論（森茂生議員）

この議案は、多くの個人市民税の改正が混在しているが、この中の附則第19条の3（※）に反対するものである。高所得者ほど大きな減税効果が得られ、金持ち優遇税制だと言わざるを得ない。暗号資産を税制で優遇する一方で、トラブルに対する注意を呼びかけている政府や各省庁の対応は支離滅裂である。このような不労所得は優遇するのではなく税を重くする必要があると考える。

（※）附則第19条の3・・・特定暗号資産に係る譲渡所得等に係る課税の特例で他の所得とは区分して100分の3の税率で課税する特例を新設するもの。

議案第44号 令和8年度八女市一般会計補正予算（第1号）

可 決

反対討論（森茂生議員）

生活保護費の追加給付については、給付を受けていた時期に住んでいた自治体に申し出なければならぬ。周知には努めるとはいうものの、果たして対象者に届くのか。対象者には1人残らず追加給付を行う必要があると考える。そのためには、八女市で対象者を把握できる場合は申し出ることなく追加給付を行う、または個別に通知するような対策が必要ではないか。国がそのような指導をしていないため、仕方がないというのも理解はするが、どうしても納得はできない。

賛成討論（三角真弓議員）

不登校対策校内支援充実事業は、不登校増加の現状に対して必要不可欠なものである。生活保護費は、コロナ禍以降、物価高をはじめとして多くの市民が厳しい生活を余儀なくされており、このタイミングで少しでも生活の支援となると考えられる。課を超えた横断的かつ、各支所との連携により一人ももれなく対象者に給付されることを確信する。

請願・意見書

地方財政の充実・強化を求める意見書採択のための請願

採 択・可 決

請願者・・・三角 博 氏 紹介議員・・・川口 誠二 議員

地方公共団体は、急激な少子・高齢化にともなう社会保障制度の整備、物価高騰対策など、極めて多岐にわたる役割が求められている。加えて、多発化する大規模災害への対応も求められる中、地域公共サービスを担う人員は圧倒的に不足し、職場における疲弊感日々深刻化している。

令和9年度の政府予算と地方財政の検討にあたって、物価高騰や賃金上昇に伴う行政コストの増大を的確に反映し、社会全体で求められている賃上げ基調と相応する人件費の確保をはじめ、一般財源総額のさらなる充実が図られる地方財政を実現するよう、8項目について意見書を提出するもの。

傍聴者の声

傍聴者数：延べ54人

～議会を傍聴してのご意見・ご感想～

（原文のまま記載）

貴重なご意見・ご感想ありがとうございました。

○議会側は行政執行部との答弁・約束の実施状況をよく点検し改善していくよう配慮してください。

○スクリーンを活用した説明、デジタル化できるところは検討をお願いします。

議決結果一覧

6 月定例会の採決結果（令和 8 年第 2 回定例会）

■は賛否が分かれた議案です

議案番号	議案名	採決結果
議案第 3 9 号	専決処分について（八女市税条例の一部を改正する条例）	承 認
議案第 4 0 号	専決処分について（八女市国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	承 認
議案第 4 1 号	八女市行政手続条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
議案第 4 2 号	八女市税条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
議案第 4 3 号	八女市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
議案第 4 4 号	令和 8 年度八女市一般会計補正予算（第 1 号）	可 決
請 願 第 1 号	地方財政の充実・強化を求める意見書採択のための請願	採 択
議案第 4 5 号 ～ 議案第 6 8 号	農業委員会委員の任命について（24 人）《委員についてはP11 に記載》 ※議案第 5 0 号は、牛島孝之議員の任命について同意を求める議案であるため、同議員は除斥の対象 （除斥とは、議案の関係者にあたるため議事に参加できないこと。）	同 意
委 員 会 提 出 議 案 第 2 号	地方財政の充実・強化を求める意見書	可 決

○：賛成 ●：反対 欠：欠席 ―：議長 議長は採決に加わりません	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
	高橋 信広	花下 主茂	坂本 治郎	水町 典子	古賀 邦彦	久間 寿紀	原田 英雄	小山 和也	高山 正信	川口 堅志	田中 栄一	堤 康幸	石橋 義博	牛島 孝之	服部 良一	中島 信二	栗原 吉平	三角 真弓	森 茂生	栗山 徹雄	川口 誠二	橋本 正敏
議案第 4 0 号	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	●	欠	○	―
議案第 4 2 号	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	●	欠	○	―
議案第 4 4 号	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	欠	○	―

報告（報告事項のため採決はありません）

報告第 1 号	専決処分について（事故による損害賠償）
報告第 2 号	専決処分について（事故による損害賠償）
報告第 3 号	八女市土地開発公社の令和 7 年度決算及び令和 8 年度事業計画の報告について
報告第 4 号	令和 7 年度八女市一般会計予算継続費繰越計算書の報告について
報告第 5 号	令和 7 年度八女市一般会計予算繰越明許費繰越計算書の報告について
報告第 6 号	令和 7 年度八女市一般会計予算事故繰越し繰越計算書の報告について

総務文教

南中学校と筑南中学校との統合に向けた取り組み (学校施設・スクールバス等)の現状を調査



総務文教常任委員会は、4月21日に南中学校を現地調査しました。

南中学校と筑南中学校の統合に向けて

総務文教常任委員会は、令和9年4月に統合される南中学校と筑南中学校の準備状況を確認するため南中学校を視察しました。

統合準備に必要な施設改修は、昨年度より校舎外装工事が進められ、順調に進んでいました。生徒数増加に伴う教室の確保は、既存施設内に確保できること、また、トイレ施設の改修(洋式化含む。)及び増設は、今年度中に実施されることを確認しました。

視察の際、委員からは、今年3月に筑南小学校を卒業した生徒の多くが4月に南中学校へ入学しており、スクールバスの前倒し対応はできないか、教室数の確保がギリギリであり支障はないのかなどの質問が出されました。

調査を終えて

南中学校と筑南中学校の統合に向けた準備は、着実に進められていました。本市では、少子化が続く中、今後も学校の統合や義務教育学校化が想定されます。一方で、学校施設の老朽化も進行しています。今後も、児童生徒の教育環境の整備・充実の状況を引き続き調査していきます。



南中学校での視察の様子

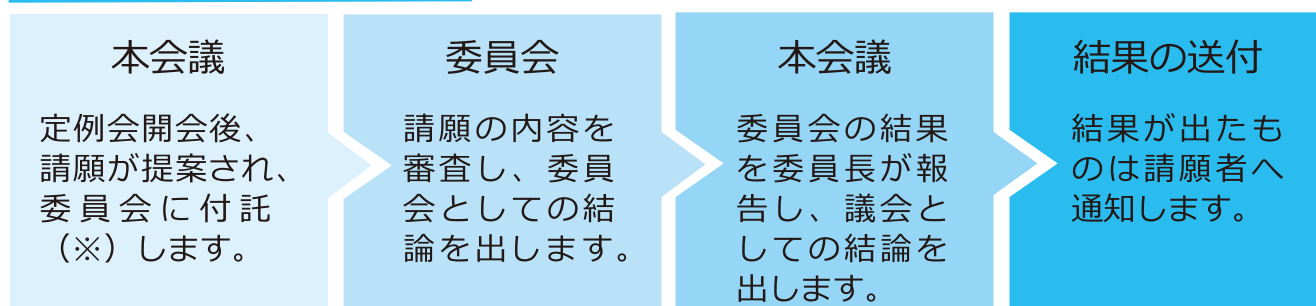
古賀 邦彦

請願と陳情

どなたでも要望などがあるときは、市議会に対して請願・陳情を行うことができます。請願の場合は、議員の紹介が必要になります。陳情の場合は、議員の紹介は必要ありません。請願は内容を委員会で審査し、採択・不採択の結果を請願者にお知らせします。陳情は委員会に送付しますが採択・不採択の結論は出しません。手続きについては、議会事務局にお尋ねください。(TEL:0943-23-4922)



請願の流れ(請願提出後)



(※) 付託…詳しく審査するため審査を依頼すること。

議案審議の様子もスマートフォンやタブレット端末からご覧いただけます！

八女市議会の本会議は、生中継と録画中継を行っています。

※会議名や議員名を選択しご覧ください。



全国市議会議長会表彰



市議会議員として長きにわたり市政の振興、発展に尽くされた功績により、第102回全国市議会議長会定期総会において、牛島孝之議員が表彰されました。

牛島 孝之 議員
(議員15年)

トピックス

第63回献茶祭

(5月2日、霊巖寺)

黒木町笠原の霊巖寺にて、茶業関係者や市議会を代表して議長など約100人が参列し、新茶の献茶や八女茶山唄が奉納されました。八女茶の伝統を守り抜き、さらなる振興を図るためにも、後世に受け継ぐことを参列した全ての人で祈念しました。



議会の動き

5月7日 全員協議会

ハラスメント防止条例

調査特別委員会

広報委員会

20日 厚生常任委員会

21日 議会運営委員会

26日 令和8年第2回6月定例会

(招集日)

全員協議会

総務文教常任委員会

建設経済常任委員会

6月1日 本会議(一般質問) 〓 4日

4日 本会議(一般質問・議案審議)

予算審査特別委員会全体会

広報委員会

8日 各常任委員会・分科会

11日 予算審査特別委員会全体会

ハラスメント防止条例

調査特別委員会

12日 令和8年第2回6月定例会

(閉会日)

全員協議会

議会運営委員会

22日 議会活性化検討委員会

26日 広報委員会



聞いてきました！ まちの声

表紙によせて VOL.25

奥八女焚火の森キャンプフィールド

マネージャー まつざき ひろ お
松崎 弘郎 さん



平成24年九州北部豪雨災害で施設の大半が流失したきのこ村キャンプ場は、活気ある笠原を取り戻したいという地域の想いと多くの協力により復旧が進められ、「焚火を囲むやさしい時間を」をコンセプトに、奥八女焚火の森キャンプフィールドとして生まれ変わりました。今回はマネージャーの松崎弘郎さんに、これまでの歩みと今後の展望についてお話を伺いました。

奥八女焚火の森キャンプフィールドはどんな場所ですか？

焚火を囲みながら、ゆったりとした時間を過ごすキャンプ場です。敷地内には笠原川が流れ、川のせせらぎや四季折々の自然を身近に感じることができます。地元の産品も販売しており、薪についても、できる限り地元のものを活用するなど、地域とのつながりを大切にしています。

これまでの経緯とこれからについて教えてください。

リニューアルオープンから5年目を迎えました。多くの方にご利用いただき、お客さまの声を取り入れながら少しずつ施設の充実を図ってきました。これからも地域に根ざし、地元の皆さまとともに地域を活性化できるキャンプ場を目指して運営していきたいと考えています。

普段の運営で心がけられていることはありますか？

利用される皆さまが気持ちよく過ごせるよう、清潔な環境づくりを何より大切にしています。自然の中でも安心して快適に利用していただけるよう、日々の管理や整備に努めています。

市民の方へメッセージをお願いします。

八女市に住んでいても、自然の中でゆっくり過ごす機会は意外と少ないかもしれません。当施設では宿泊とは別に日帰り利用プランもご用意しています。木育スペースで遊ぶことも出来ますし、カフェも併設しています。

ぜひ、お気軽にお越しください。詳しくは、公式ホームページをご覧ください。

(TEL: 0943-42-4305)



編集後記

梅雨が明け、本格的な夏を迎えました。各地では夏祭りや地域行事が開催され、子どもたちの元気な声が響く季節となりました。夏の風物詩に触れるたび、どこか心が和みます。

その一方で、暮らしを取り巻く環境は厳しさを増し、将来への期待よりも不安を語る声が多くなったように感じます。世界に目を向ければ、

戦争や紛争が絶えず、平和の尊さを改めて考えさせられます。

ふと心に浮かぶのは、何気ない日常のありがたさです。当たり前を迎える夏、家族や仲間と過ごす時間、地域を支える人々の姿。その一つひとつを大切にしながら、この夏を過ごしたいものです。どうぞご自愛ください。

高山 正信

委員	委員	委員	委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長	広報委員会	議長	発行責任者
花下主茂	坂本治郎	久間寿紀	原田英雄	小山和也	高山正信	服部良一	水町典子	古賀邦彦		橋本正敏	

議会を傍聴しませんか？

次回定例会：9月2日（水）予定

八女市役所本庁舎4階議場午前10時から
八女市議会事務局TEL: 23-4922

※日程は変更となることがあります。